

事業所名

第2乳幼児親子教室(児童発達支援)

支援プログラム

作成日

令和7年

3月

31日

法人（事業所）理念	子どもの主体性を大切にした療育、子どもを真ん中にして保護者と職員がともに学び合い、子ども達が地域の中で健やかに育つことを大切にしています			
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びと生活を基本に子どもの主体性を大切にし、一人一人の子どもに寄り添い発達を支援する ・4つの保育目標「自分からすすんで遊ぶ子に」「友達と一緒にいる楽しさが分かる子に」「人と気持ちが共感できる子に」「生活リズムを確立して健康な子に」 ・独りぼっちで悩む保護者を少なくする ・子どもを真ん中にして保護者と保育者が協力して療育を進めていく ・地域の中で子ども達が健やかに育つよう地域の関係機関と連携していく 			
営業時間	平日 9:00～17:00 土曜日 9:00～15:00 第2土曜日 9:00～17:00	送迎実施の有無	あり なし	
対象年齢	3～5歳児 サービス提供時間 9:00～14:30			
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活リズムを整える ・生活習慣の自立を促す（食事、排泄、着脱） ・1日の生活の流れの見通しを持って行動する（朝の支度、朝の会前の片付け、食事の準備、帰りの支度など） 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の遊具などで遊ぶ中で身体の使い方を知っていく ・粘土やのり、泥遊びなど色々な素材に触れる中で感触に慣れ、楽しめるように支援する ・ハサミ、鉛筆など手先を使う活動を通して手と目の協応活動を促す 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の会など椅子に座って参加する ・言葉の理解を深め、言葉の指示で行動する経験を増やしていく ・「今、何をするべきか」に気付き、自分で行動出来るように見守っていく 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙や概念の理解を深める（言語聴覚士による個別指導） ・自分の思いを相手に伝える事、相手の思いに気付く事、受け入れたり折り合いをつける事を経験していく ・言語伝達、表現力を高める。質問の意味を理解して答える経験を重ねていく 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・友達への興味関心を広げ、友達とのやり取りを増やしていく ・ルールのある遊びを理解して楽しむ ・最後まで話を聞いて行動する 		
家族支援		移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に面談を行い、幼稚園（保育園）での様子や家庭での様子を聞く ・悩みや相談に対して助言をする ・保護者会や交流会で保護者同士が語り合える場を作る ・幼稚園、保育園と連携をとり情報共有を行う（保育所等訪問支援） ・就学に向けて保護者と一緒に考えていく（就学相談、就学支援シート） 	
地域支援・地域連携		職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・保健相談所と情報共有を行う（業務連絡会、言葉のまとめ） ・地域の公園で遊び、地域の人と交流する ・「おやこまつり」を開催し、近所の人に教室の事を知ってもらう ・法人や事業所で研修を行い、知識を深めていく ・外部研修への参加を呼びかけ職員の専門性を高めていく ・ガイドライン、第三者評価などで評価、改善を行っていく 	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・戸外活動（親子参加にすることで、保護者に子どもの様子を見てもらい知ってもらう機会にしている） ・防災訓練（地震や火事に備えた訓練を行う、保護者の引き取り訓練を行う事で緊急連絡の実施訓練を行っている） ・季節の行事を楽しむ（季節の制作、クリスマス会、始業式、修了式など） 		